

第34回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成27年 2月 27日（金） 10:00～12:00

2 場 所 生駒市コミュニティセンター301会議室

3 出席者

（委員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 中井みどり景観課長、中川花のまちづくりセンター所長、巽みどり景観課緑化推進係長、松田みどり景観課主査、作田みどり景観課

（欠席者） 1名

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

（2）その他

5 議事録

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

【事務局説明】

・コンテストに応募されたコミュニティ部門9件、学校部門6件、事業所部門2件、個人部門7件の合計24件を今年度初めて春夏秋冬4回の現地審査を実施し、1回ごとに点数化した審査結果を表にまとめた。審査結果に基づいて採点表で審査をお願いしたい。

【委員意見等】

・全体から最優秀賞と優秀賞が1点、それぞれの部門ごとに景観賞とまちづくり賞を1点ずつ決めていく。コミュニティ部門の③、学校部門の②と⑤、事業所部門の②、個人部門の①と③が高得点であった。（発言）

<選考：最優秀賞、優秀賞>

・総得点でいうと最優秀賞はコミュニティ部門③で、その次に高得点であった事業所部門②を優秀賞ということよろしいか。（発言）

⇒異議なし。

・3年連続で最優秀賞になれば、音楽とか絵画のように「無鑑査」といって3回賞を受賞す

ると審査の対象から外れるという考え方も検討いただけたらと思う。「無鑑査」が増え、他の団体に賞を差し上げることができれば、生駒市全体の底上げになると思う。(発言)

・結果が出てから条件を増やすのはよくないので、次回から検討する機会があればよいと思う。(発言)

<選考：コミュニティ部門>

・③が最優秀賞に決定したので、次に点数が高い上位2件は⑥と⑦である。景観やデザインに貢献している方に「景観賞」、みんなで頑張っている方に「まちづくり賞」。(発言)

・点数が近差なので、これまで受賞されていない⑦を推薦したい。若い方が頑張っておられる場所なので受賞されたら励みになるのではないか。(発言)

・⑦はマンション内にあるので、一般に公になっていない場所である。ただし、頑張っているのは事実である。人数も多いので「まちづくり賞」ではないか。(発言)

・大規模マンションで、あれだけ手入れできているのは非常に珍しい。賞とは関係なく、表通りや見えない裏側までいつもきれいにされている。⑦はまちづくり賞にぴったりである。(発言)

⇒⑥が「景観賞」、⑦が「まちづくり賞」に決定。

<選考：学校部門>

・上位2件は、②と⑤である。②が「景観賞」、⑤が「まちづくり賞」でよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

<選考：事業所部門>

・②が優秀賞に決定したので①が残るが、点数があまりにかけはなれているので、残念ながら該当なしでよろしいか。(発言)

⇒毎年応募されているが、場所がすごく目につくところだからこそ、もう少し頑張ってほしい。(発言)

<選考：個人部門>

・非常に近差だが、上位は③と①と⑦である。(発言)

・③の場合は、今までにない植物でおもしろい。植物の葉を周りの人に差し上げていたり近隣への広がりも感じられた。(発言)

・③に「まちづくり賞」、そして①に「景観賞」でよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

<結果>

・最優秀賞 コミュニティ部門③

・優秀賞 事業所部門②

・部門賞(景観賞・まちづくり賞)

コミュニティ部門(景観賞：⑥・まちづくり賞：⑦)

| | |
|-------|------------------|
| 学校部門 | (景観賞：②・まちづくり賞：⑤) |
| 事業所部門 | (該当なし) |
| 個人部門 | (景観賞：①・まちづくり賞：③) |

- ・今回、受賞されなかった方には、応募者のモチベーションが上がるようなコメントやアドバイスを返してほしい。(発言)
- ・アドバイスについては、聞きたい人と聞きたくない人がいるため、難しいのではないかな。(発言)
- ・応募者へのお礼状を送付する際に、各受賞作品の写真などは入れているのか。(発言)
⇒結果とともに、次回の「花と緑の景観まちづくりコンテスト」「花と緑のわがまちづくり助成制度」のご案内をさせていただこうと考えている。
- ・事業者さんがもっと市民の方に呼びかけて、花や緑の管理に関われるような仕組みをつくっていただいたら、自分たちだけで頑張らなくてもいい。具体的には、「ボランティア募集」と呼びかけて、事業所と市民が協働でやっていただく。逆に、市民から事業所に働きかけていく場合もある。(発言)
- ・今回4回の審査は、応募者にも結構な負担になっていたようで、審査日を文書にて案内したところ、花のない時期に来ないでほしいと返事をいただいたところや工事で審査できないところもあった。点数はゼロで表示しており、結果としてご了承いただければと思う。(発言)
- ・審査できない場合はゼロではなく、横棒にするべき。その点を踏まえても、今回の場合は高得点には達していない。(発言)
- ・当コンテストの表彰式では、受賞事例の展示を行う予定なので、受賞作品を知ってもらえる。表彰式以外でも、市役所のロビーなどで一週間程度展示するという方法もあるのではないかな。(発言)

<今年の感想について>

- ・今年の感想について、4回審査することはご負担ではなかったか。4回というのは3か月に一回のペースで審査ということになるが、来年度はいかがか。(発言)
- ・4回審査に来るということを実体験してみたく今回応募してみた。書類を見るだけでは分からないかもしれないが、応募側としてはしんどかったというのが感想である。(発言)
- ・4回の審査の中では、前回のことを思い出して採点していたのか。(発言)
⇒その時々で点数を付けたが、前回と比べる楽しみもあった。
- ・4回審査があったが、自慢の時期に審査できていないものもある。(発言)
- ・四季ごとの総合得点を出せば、ばらつきがあるので、審査した効果があったと感じる。(発言)
⇒瞬間の得点が良い作品と、年間を通じての得点が良い作品の2通りがある。
- ・花づくりコンテストではないので、地被類などを組み合わせるとバリエーションが増えるし、樹木や植物を混ぜることで手間も省ける。(発言)

<今後の予定>

【事務局説明】

・表彰式については、5月10日の「花・緑まちづくりフェスタ」にて予定している。平成27年度については、4回の審査を継続する形で今年度と同じ内容での（案）を作成。これから広報紙で募集する予定である。また、今年度応募いただいた方々へは、（案）としてご案内をさせていただく。

【委員意見等】

・5月上旬に審査をするために、応募期間を1か月前倒しにできないか。（発言）
⇒平成28年度から年度内に応募をかけておいて、4月から現地審査できるようにすることは可能かと思うが、平成27年度は広報の関係上難しい。

・4月1日号の広報紙に掲載予定であっても、応募期間の締め切り日を4月21日として、すぐに審査に行くというのも方法の一つである。（発言）

・審査は4月末、9月末、11月末が良いと思う。（発言）

・4月21日で締め切り、すぐにリストを作って、年3回の審査に変更する方法はいかがか。（発言）

⇒応募要領にある「春の活動状況がわかる写真」の添付は省き、応募期間を4月1日から4月21日までとし、書類は4月30日までに提出とする。現地審査は年3回行うことで決定する。

(2) その他について

[事務局説明]

<市民の森事業進捗状況の報告>

・平成26年8月から12月にかけて5回のワークショップを開催。対象は地域住民で、3自治会（松美台東、新生駒台、小明町）と生駒台小学校へ案内させていただいた。参加者は、各回20～30人であり、そのうち約半分は子供たちが集まった。

ワークショップ後も10年継続して活動していくための手法として体験型ワークショップを実施し、草刈り、不要な樹木の除間伐、道づくり、階段づくりを行っている。

市の工事は3月末で完了予定。柵やゲート、ルール作りや情報発信の案内板の設置、大きな木の伐採を行っている。一般開放については5月を予定。

【委員意見等】

・森関係以外の方も森を使って楽しめるような関わりができれば幅が広がると思う。（発言）

<第2期花とみどりの楽校（里山づくり編）報告>

・平成27年度は、「花とみどりの楽校」の名称は残して、連続講座ではなく年6回程度の単発の講座を開催予定。時間は半日程度で、子育て世代も参加できるようなメニューを考えていく。参加費用は、ワンコイン程度で検討。平成27年度は試験的に実施し、参加者にま

ち中の緑に気づいてもらい、花や緑に興味を持つ人が増えれば、従来の連続講座に戻す方向。

【委員意見等】

- ・参加のハンコ等を集めたら修了証を渡すなどの工夫があればよい。(発言)
- ・参加者は、最初に全体を見たいと思うので、広報紙には6回全ての内容を掲載していただきたい。(発言)

<はなまち「カフェ」の進捗状況報告>

- ・ふろーらむに開設するカフェの名称を募集したところ、39通の応募があり、「Cafe ふろーらむ」に決定した。4月16日からは、練習期間としてプレオープンし、「花・緑まちづくりフェスタ」に合わせて5月10日に開店する予定。

食器はリユース品などを使用し、支援施設の授産品もメニューとして提供させていただく。

<次回の日程について、4月下旬頃を予定しているが、決まり次第連絡する>